2023 年 7 月 12 日

各位


会　社　名　アステラス製薬株式会社
代　表　者　代表取締役社長 CEO　岡村　直樹
（コード：4503、東証プライム）
（URL　https://www.astellas.com/jp/）
決　算　期　3 月
問い合わせ先　広報部門長
池田　博光
（Tel：03－3244－3201）


# 米国 Iveric Bio 社の買収完了 および子会社の異動に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、以下「アステラス製薬」）は、2023 年 5 月 1 日にお知らせした、当社の間接子会社である Berry Merger Sub, Inc.を通じた米国のバイオ医薬品企業 IVERIC bio, Inc.（NASDAQ：ISEE、本社：米国ニュージャージー州、CEO：Glenn P. Sblendorio、以下「Iveric Bio 社」）の買収（以下「本買収」）に関する契約締結について、下記の通り、2023 年 7 月 11 日（現地時間）に本買収が完了し、Iveric Bio 社は当社の子会社となりましたことをお知らせします。

本買収は、7 月 6 日（現地時間）に開催された Iveric Bio 社臨時株主総会において承認され、独占禁止法関連の当局の承認を含む全ての条件を満たしたことにより完了しました。なお、本買収により Iveric Bio 社の株式は NASDAQ 市場から上場廃止となりました。

アステラス製薬の代表取締役社長 CEO である岡村 直樹は、「Iveric Bio 社をアステラス製薬の一員として迎えられることを大変嬉しく思っています。Iveric Bio 社は、眼科領域において卓越した専門性を備えた優秀な人材で構成されています。今後、アステラス製薬と Iveric Bio 社のケイパビリティを融合させ、失明リスクの高い眼科疾患を抱える世界中の患者さんへ貢献していきます」と述べています。

Iveric Bio 社の CEO である Glenn P. Sblendorio は、「Iveric Bio 社にとって、本日は新たな素晴らしい区切りとなります。退任する Iveric Bio 社の取締役会メンバーの長年に渡る献身的な働きにお礼を申し上げるとともに、何より Iveric Bio 社の株主のみなさまのご支援に深く感謝いたします」と述べています。

また、Iveric Bio 社の President である Pravin U. Dugel は、「私たちは、アステラス製薬とともに、網膜疾患に対して差別化された治療薬の開発・商業化において業界のリー

ダーになれると確信しています。両社の強みを融合し、不可逆的な失明につながる重篤な疾患である地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性の治療薬である Avacincaptad Pegol の承認取得の可能性と上市に向けた準備を進められることに興奮しています」と述べています。

記

1. 子会社の異動

(1) 異動の理由

本買収の完了に伴い、Iveric Bio 社は当社の子会社となりました。

(2) 異動する子会社の概要（本買収完了前時点）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 名称 | | IVERIC bio, Inc. | | |
| ② 所在地 | | 8 Sylvan Way Parsippany, NJ 07054, US | | |
| ③ 代表者の役職・氏名 | | CEO, Glenn P. Sblendorio | | |
| ④ 事業内容 | | 医薬品の研究開発 | | |
| ⑤ 資本金 | | 137千米ドル（2022年12月31日時点） | | |
| ⑥ 連結純資産 | | 534,657千米ドル（2022年12月31日時点） | | |
| ⑦ 設立年 | | 2007年 | | |
| ⑧ 発行済株式総数 | | 137,976,851株（2023年5月30日時点） | | |
| ⑨ 上場会社と対象会社の関係 | | | | |
| | 資本関係： | 当社と対象会社の間には、記載すべき資本関係はありません。 | | |
| | 人的関係： | 当社と対象会社の間には、記載すべき人的関係はありません。 | | |
| | 取引関係： | 当社と対象会社の間には、記載すべき取引関係はありません。 | | |
| | 関連当事者への該当状況 | 対象会社は当社の関連当事者には該当しません。 | | |
| ⑩ 対象会社の最近3年間の連結経営成績および連結財政状態(*) | | | | |
| 決算期 | | 2020年12月期 | 2021年12月期 | 2022年12月期 |
| 連結純資産（千米ドル） | | 191,563 | 360,528 | 534,657 |
| 連結総資産（千米ドル） | | 216,754 | 389,358 | 666,823 |
| 1株当たり純資産（米ドル） | | 2.58 | 3.54 | 4.42 |
| 連結売上高（千米ドル）(**) | | - | - | - |
| 営業損失（千米ドル） | | (88,736) | (114,757) | (189,906) |
| 税引前損失（千米ドル） | | (88,242) | (114,522) | (185,211) |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 当期純損失(千米ドル) | (84,547) | (114,522) | (185,211) |
| 1株当たり当期純損失(米ドル) | (1.14) | (1.12) | (1.53) |
| 1株当たり配当金(米ドル) | - | - | - |

(*)Iveric Bio 社が 2023 年 3 月 1 日に米国証券取引委員会（SEC)に提出した Iveric Bio 社の年次報告書である Form 10-K から引用。
(**)製品上市前のため、売上高はありません。

(3) 取得価額
一株当たり 40 米ドル、総額約 59 億米ドル
（オプション、Restricted Stock Unit 等その他証券取得に関する支払いを行うために要する金額を含んでいます）

(4) 子会社の異動日
現地時間 2023 年 7 月 11 日

2. 今後の見通し

本買収によるアステラス製薬の通期(2024 年 3 月期)連結業績予想に与える影響は現在精査中です。今後、公表すべき事項が生じた際には、速やかに開示します。

以上

本買収契約締結の詳細については、2023 年 5 月 1 日付のプレスリリース「米国 Iveric Bio 社買収に関する契約締結のお知らせ」をご参照ください。

**アステラス製薬株式会社について**
アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ／テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(https://www.astellas.com/jp/)をご覧ください。

**将来見通しに関する注意事項:**
過去の事実に対する言及を除く本資料における全ての記述は、「将来予測に関する記述」と看做され得ます。場合によっては、将来予測に関する記述は、「考えます」、「かもしれません」、「するでしょう」、「はずです」、「予想します」、「目標」、「戦略」、「潜在的に」、「予測します」、「継続します」、「予期します」、「意図します」、「可能性があります」、「するであろう」、「見積もります」、「計画します」、「期待します」、「求めます」といった用語や類似の表現およびその変化形により識別される可能性があります。Iveric Bio 社は、これらの将来予測に

関する記述は、米国の 1995 年私的証券訴訟改革法（the Private Securities Litigation Reform Act of 1995）の免責条項によって保護されるものと考えています。
本資料には、「将来予測に関する記述」として、当社による Iveric Bio 社の買収の効果とその目的、当社と Iveric Bio 社にとって買収を通じて実現が期待される潜在的利益に対する考え方、Iveric Bio 社の製品候補群に期待されるメリットとその成功等が含まれており、これらはいずれも、かかる将来予測に関する記述から明示または示唆される結果と実際の結果とが著しく異なる可能性のある、重要なリスクと不確実性を伴っています。
そうしたリスクおよび不確実性には、Iveric Bio 社の製品候補群における規制当局への申請タイミングおよびその性質、買収により得られるものと想定していた利益が実現できない、または想定する期間内において実現されないことを含む、買収時に期待された利益を実現するための能力、当社と Iveric Bio 社の事業及び製品群が上手く統合されないこと、多額の取引に関するコスト、認識されていない負債、本買収または Iveric Bio 社の事業に関連する訴訟および/または規制措置に関するリスク、買収資金の調達に関するリスク、業界、市場、事業、経済、政治または規制に関する影響、将来の為替と金利の動向、税法その他の法律、規制、料金、政令に関する変更、将来の事業結合および処分、期待される臨床試験におけるエンドポイントを達成する能力、臨床試験の開始日および/または終了日、規制当局への申請の提出日、規制当局による申請の承認日および/または製品の発売日、好ましくない新たな臨床データや既存の臨床データのさらなる分析の可能性、中間データに関連するリスク、臨床試験データが規制当局による異なる解釈や評価の対象となるリスク、規制当局が臨床試験のデザイン及び結果に満足しているかどうか、Iveric Bio 社のパイプライン製品群に関して、あらゆる司法管轄区域で、医薬品申請が可能かどうか、またいつの時点において申請が可能か、申請が規制当局によって承認されるかどうか、またいつ承認されるかを含む、製品が既知のリスクを上回るか、有効性が決定されるか、承認されれば、その製品が商業的に成功するか、ラベル、製造プロセス、安全性、またはそのような製品の入手可能性や商業的可能性に影響を及ぼす可能性のあるその他の事項に影響を及ぼす規制当局による決定、要員や人的資源に関する見込みおよび競争上の進展など、数多くの要因に左右される研究開発活動に内在する不確実性などを含んでいます。
さらに、当社は非常に競争が激しく、急速に変化している環境において事業を営んでおり、随時新たなリスクが生じます。かかる将来予測に関する記述は当社の財務状況、経営成績、事業戦略、短期・長期の事業運営・目標、および財務ニーズに影響を及ぼす可能性があると考えられる将来の事象やトレンドに関する現在の期待と予想に基づいていますが、将来の出来事、結果、行動、活動の水準、業績および成果、事業および市場の状況、バイオテクノロジーの進展および潜在的な規制当局の承認のタイミングおよび結果を保証することはできません。前述の各項目は網羅的ではない可能性があります。将来予測に関する記述は、その作成された日時点のものであり、本資料の閲覧者は将来予測に関する記述に過度に依存しないように注意を要し、当社は、法律により要求される場合を除いては、本日以降の出来事や状況を反映するため将来予測に関する記述を修正し、または更新する義務を負わず、またそのような反映を行う意図を有していません。